

# ぱおぱお ニュース

## < 病気の豆知識 >

### 今月は…『マイコプラズマ』です

マイコプラズマという細菌が肺に感染して起こる病気で、幼児や学童期にかかると多い病気だと言われています。簡易検査だけでなく、血液検査やレントゲン写真など総合的にみて診断されます。

#### < 典型的な症状の経過 >

症状は喉の痛み、咳や発熱などの風邪症状から始まり、だんだんと症状が重くなると言われています。上がり下がりを繰り返す頑固な発熱と、しつこい咳が特徴的です。

熱が下がっても咳が1ヶ月近く続くとも言われています。



#### < ホームケア >

食欲がない場合は、脱水に気をつけて水分補給をこまめにしましょう。イオン飲料、野菜スープや味噌汁などお勧めです。本人の好きなもの、食べられるものでカロリー摂取も必要です。



高熱が続く・咳き込みがひどく吐いてしまう、何も食べられず元気がなくなってきたなどの時はもう一度受診したほうがよいでしょう。



#### < 感染予防には >

咳やくしゃみのしぶきによる飛沫感染や、手についた細菌からの感染を防ぐことがポイントとなります。そのため、マスクの使用や手洗いをしっかりとすることが大切です。

また、一緒に口の中や喉についた細菌を洗い流すための

うがいもとても有効ですね。



#### < 登園・登校の目安 >

熱が下がって咳が少なくなり、主治医の許可があれば行ってもよいでしょう。ただし、しつこい咳が続きますのでおさまるまでは、激しい運動は少し控えたほうがよいでしょう。



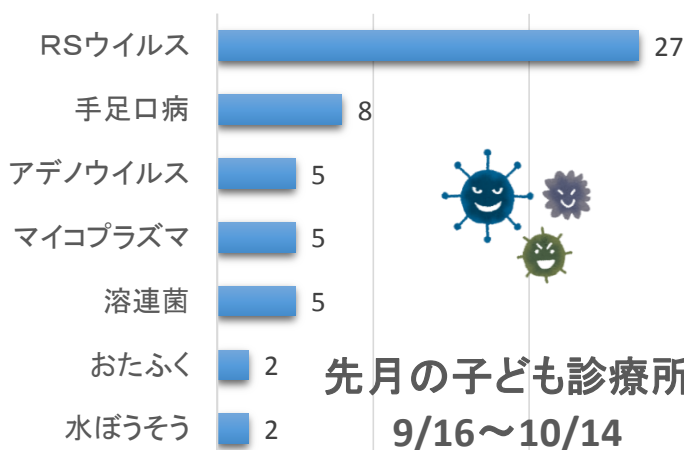
## < 感染症情報 >

### 子ども診療所では…

- ・9月はRSウイルスが流行っていましたが、10月に入り落ち着いてきています。
- ・季節の変わり目で、ゼーゼーして吸入しているお子さんが目立ちます。

### 病児保育室ぱおぱおでは…

- ・RSウイルスで中耳炎を併発しているお子さんもいました。
- ・やはりゼーゼーして入室後、午前午後と吸入するお子さんが目立ちます。



## < 七 五 三 >

### 「七五三とは…」

七五三とは7歳、5歳、3歳の子どもの成長を祝う年中行事の一つです。



「子は宝」と言われるように昔は飢餓や流行病などで乳幼児の生存率は今ほど高いものではありませんでした。3歳、5歳、7歳を節目として、子どもが無事に育ったことを祝い、今後も健やかな成長を祈願する目的で、神社や氏神様に  
お参りする行事が定着し、

現在でも『七五三』として残っているのです。

11月15日に定着したのは江戸時代と言われているそうです。

### 七五三と言えば…「千歳飴」

千歳飴は江戸時代に飴屋が考案し、  
寺社の門前で売ったのが始まりとされています。

『千歳』というのは『1,000年』という意味で、子どもたちが健康で長生きして、  
幸せに暮らせますように…という願いが込められています。

そして、長い棒状なのは、子どもの背が大きく伸びますように…

という意味があるそうですよ。



親の願いはいつの時代も変わりませんね。

子どもたちが健やかに大きくなりますように…。

## <スマイルコーナー> 病児保育室での心温まるエピソードなどをご紹介しますね。

### ♡ 優しい気持ち ♡



風邪で入室した1歳のTちゃんとK君。初対面の二人です。

K君は朝の入室時、お母さんと離れる時に大泣きでした。泣いている顔を覗き込み、心配そうにそばに寄り添い見ていたTちゃん。笑顔のTちゃんと一緒におやつを食べて落ち着きました。その後しばらく機嫌よく遊んでいると、今度はTちゃんが、ふと思い出したように急に泣き始めました。保育士が声をかけても泣き止まず、隣りで遊んでいたK君が、おもちゃを「ど〜じょ♪」と渡してくれたのです！それでもTちゃんの泣きは  
すぐにはおさまりませんでした。K君の優しさはきっと届いたことでしょう。

お互いに思いやる優しい気持ち、大切にしていきたいですね。(M)



## 保育室のご利用には 事前の登録が必要です！

新規ご登録は随時行っております。まずはお気軽にお電話を♪

お問い合わせ 病児保育室ぱおぱお (月～金 8:30～17:30)

TEL 042-521-2777

